

あらわになる 「維新政治」、 この事実

安倍内閣と「改憲」二人三脚

「維新の会」は安倍内閣の「改憲与党」です。

夏の参院選で、安倍内閣の働きかけと応援で大阪選挙区複数擁立。その狙いも、民進党や共産党を勝利させないため。ズバリ「改憲反対勢力つぶし」にありました。

参院選では公報も、政見放送も「改憲隠し」。参院選が終わると、「改憲論議」推進という点でも安倍内閣との二人三脚ぶりを見せています。



「身を切る」どころか

「維新の会」は「身を切る改革」を叫びますが、税金分け取りの「政党助成金」は国会議員一人あたり2400万円強を手に入れます。松井知事は「退職金をゼロにした」と宣伝しながら、その分を給与に上乗せし、一時金を含めると総額は300万円以上増えます。

「野党共闘攻撃」で安倍政権を助ける

「大阪から野党共闘をすすめる」(9月19日辻元清美民進党衆議院議員)。参院選での「野党共闘」の波は、大阪でも確実に広がります。

「野党合意」では「維新の会」など「安倍政権の補完政党」を「少数に追い込む」とはっきり。

「維新の会」はこれを恐れ、「野合」「野合」と叫び、「野党共闘つぶし」に躍起です。しかし、そのことで逆に「安倍政権の補完勢力」ぶりをきわだたせています



またぞろ「大阪都」!? 「格差と貧困」の解決こそ急務

「維新」は昨春、「住民投票はラストチャンス」「終わればすべてノーサイド」(橋下氏)と叫びながら、その決着がついた「大阪都」(「特別区設置」)をまたぞろ叫んでいます。

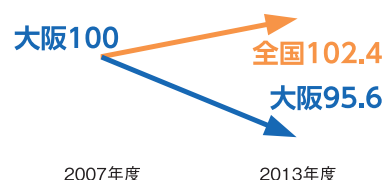
住民投票で決着がついたものを、知事・大阪市長がひっくり返そうなんて、とんでもない。

また「万博」にまぎれてIR(カジノ)導入の動きも。いま府や市が力をつくすべきは全国ワーストクラスの「格差と貧困」の解消です。

「大阪を変える」どころか

「維新の会」は、「年率2%経済成長させる」などと「公約」してきました。ところが実際は、橋下府政前と比べると、大阪経済は4.4ポイントのマイナスです。同じ時期、全国平均はプラス2.4ポイントですから、その落ち込みぶりは鮮明です。

大阪と全国の総生産伸び率比較
(2007年=100、実質)





住民の願いに応える 住民施策が大きく前進

13年9月の堺市長選以降、岸和田、貝塚、豊中、泉南、吹田、寝屋川、八尾などで「オール市民」市政がひろがり、「国保料引き下げ」「子ども医療費助成の拡大」などくらし応援の施策が前進しています。一方、維新府政・市政では、「“財政を黒字”にしたと言うが実は借金を増やす」(大阪府・守口市)、「救命救急センターへの単独補助を廃止」(大阪府)、「住吉市民病院の廃止を決定」(大阪市)など住民施策をばっさり切り捨て。



反維新の自治体でこんな住民要求が実現

- **岸和田** 市立病院を充実(閉鎖されていた産科を9年ぶりに再開)
子ども医療費助成を中学校3年までに
中学校給食(直営でセンター方式)
公立幼稚園の3歳児からの受け入れ
- **寝屋川市** 国保料の引き下げ
小学校3年まで35人学級
保育料—①寡婦控除みなし適用(未婚ひとり親世帯)
②多子世帯等への保育料軽減の拡充
市「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として
3人目以降の学校給食費の助成を検討へ
- **吹田市** 市有地の利用で保育所2カ所を設置
はり・きゅう・マッサージ助成へ(廃止事業の復活)
通園困難者クーポン支給(廃止事業の再構築)
学校トイレ洋式化にリニューアル工事
- **堺市** 経済的理由で食事をとれない子どもに
無償提供「子ども食堂」を設置
泉北高速鉄道 通学定期代の負担軽減
高齢者外出支援「お出かけ応援バス」の拡充
国保料を7年連続引き下げ

弱者に
負担おしつけ

子ども 障がい者 ひとり親 老人

大阪府の医療費助成制度の見直しへ

制度の見直し改悪を中止し、
いのちと健康を守る大阪府本来の役割を果たすべき

大阪府が検討している窓口負担増

	現行	見直しの方向
受診	1回 500円	1回 500円
調剤薬局	なし	1回 500円
1カ月の上限	2500円	4500円？
1医療機関での1カ月の上限	2回分(1000円)	撤廃

障害者医療拡大と老人医療削減

	現行	見直しの方向
障害者医療	●身体1・2級の方 ●重度知的の方 ●中度知的と身体 の重複の方	現行に加え ●精神1級の方 (入院3カ月まで) ●重度難病の方
老人医療 (65歳以上)	●精神1級以外の方 ●難病重度以外の方 ●結核の方	●対象外に (約3万6300人)

市町村にも大打撃！ みんなの力で負担増NOの声を上げよう